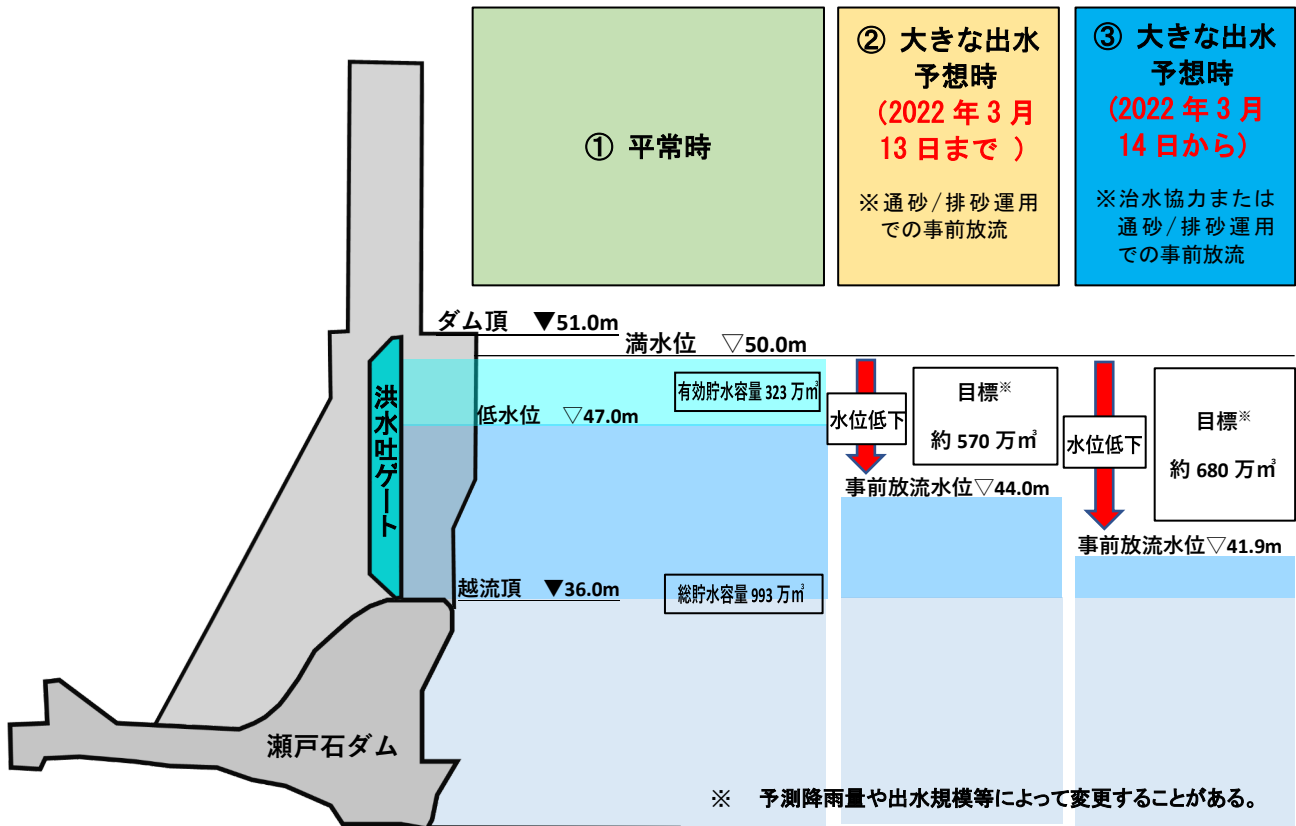


## 瀬戸石ダム 事前放流による治水への協力



## &lt;事前放流による治水への協力実績(2022年度)&gt;

種別	事前放流期間	事前放流状況	最大放流量(m <sup>3</sup> /s) ※
台風14号	9月17日18時~9月18日10時	到達水位 EL.41.73m (目標 EL.41.9m) 確保容量 698 万 m <sup>3</sup> (目標 680 万 m <sup>3</sup> )	5,550 (9月19日4時30分)

※ 洪水量 2,000m<sup>3</sup>/s、ダム設計洪水量 6,000m<sup>3</sup>/s

- ・2020年5月に河川管理者、ダム管理者および関係利水者との間で締結した「球磨川水系治水協定」に基づき、大きな出水が予想された場合に事前放流を実施しております。
- ・2022年の出水期から、設備改造により更にダム水位を低下させることが可能となり、事前放流により確保する目標の容量を、約570万m<sup>3</sup>(上記図②)から約680万m<sup>3</sup>(上記図③)へと増やしました(+約110万m<sup>3</sup>)。
- ・昨年9月の台風14号では、698万m<sup>3</sup>を確保しました。
- ・なお、「令和2年7月豪雨」時は、通砂/排砂運用により事前に水位を低下させており、上記図②の空き容量が確保されておりました。
- ・今後も事前放流を確実に実施し、治水への協力を努めてまいります。